

消 防 年 報

令和3年版

湯 浅 広 川 消 防 組 合

はじめに

この消防年報は、湯浅広川消防組合の消防現勢と過去5年間の消防業務の実績、統計等を収録し、今後の施策の参考にするとともに、広く一般に消防行政の現況をご理解いただき、一層のご指導とご協力を願うため編集したものです。

当消防本部は、和歌山県の湯浅町、広川町の2つの町を管轄としています。

湯浅広川消防組合消防本部

湯浅町は、和歌山県の中央からやや北部に位置し、西は紀伊水道に面して、海と山に囲まれた町で、醤油醸造町としては全国初となる「重要伝統的建造物保存地区」を有しています。平成29年4月28日には、醤油醸造の発祥の地、紀州湯浅として醤油醸造文化のストーリーが日本遺産に認定されました。

16世紀末期頃に開発されたとされる北町、鍛冶町、中町、濱町を中心とする醤油醸造業が最も盛んであった地区が、平成18年に保存地区として指定されています。

保存地区は、伝統的な木造住宅、土蔵が多く海からも近いことから住民の防災意識が高く、当地区から湯浅町初となる自主防災組織が結成されました。

現在では初期消火訓練、津波避難訓練等を計画的に実施し、他の自主防災組織の模範となりながら、防災活動に取り組んでいます。

また、湯浅町の深専寺には、安政元年（1854年）の南海地震で起こった津波の概要を記した記碑が建てられています。（和歌山県指定文化財）



重要伝統的建造物保存地区写真



大地震津波心得の記碑



この写真は広川町庁舎前に建てられている浜口梧陵翁の銅像です。

広川町が生んだ偉大な先覚者・浜口梧陵翁の業績を称え、明治30年小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）により「生ける神」なる物語として全世界に紹介され、昭和12年には文部省発行、小学校国語読本巻十（5年生用）に「稲むらの火」として紹介されていました。

平成30年5月、広川町の防災遺産「百世の安堵」が日本遺産に認定されました。「百世の安堵」という名称は、安政元年の津波被害から多くの人々を救った濱口梧陵の言葉「築堤の工を起して住民百世の安堵を図る」から付けられたものです。安政の津波が起きた11月5日は平成27年、国連により「世界津波の日」と定められました。

稲むらの火

「これはただ事ではない。」とつぶやきながら、五兵衛は家から出てきた。

----- 『稲むらの火』より抜粋 -----

安政元年（1854年）に広村（現在の広川町）を襲った大津波。

浜口梧陵は被災した人々のために敢然と立ち上がりました。彼の活躍ぶりを描いた「稲むらの火」からは当時の緊迫感がひしひしと伝わってきます。

梧陵は広村で分家浜口七右衛門の長男として生まれ、12歳の時に本家の養子として銚子（現在の千葉県）に移り家業であるヤマサ醤油の事業を継ぎました。

たまたま彼が広村に帰郷していたとき、突如大地震が発生し、紀伊半島一帯を大津波が襲いました。

彼は、稲むら（ススキや稲束を積み重ねたもの）に火を放ち、この火を目印に村人を誘導して、彼らを安全な場所に避難させました。しかし津波により村には大きな爪あとが残りました。

このかわり果てた光景を目にした梧陵は、故郷の復興のために身を粉にして働き、被災者用の小屋の建設、農機具・漁業道具の配給をはじめ各方面において復旧作業にあたりました。また、津波から村を守るべく長さ650m余り、高さ約5mの防波堤の築造にも取り組み、後の津波による被害を最小限に抑えました。

国政にも様々な活躍をしその功績をたたえる碑が、広川町内の各地に建立されています。

広川町では平成15年から「稲むらの火祭り」と称して、広川町役場前から広八幡神社まで参加者らが各自「たいまつ」を持って行進し、「自分の田の稲むらに火を放ち、村人の避難を呼びかけ押し寄せてくる津波から住民を救った」という浜口梧陵の偉功を後世に伝える行事を毎年開催しております。

現在、梧陵の精神は、地域住民及び湯浅広川消防組合の防災の精神的支柱として受け継がれています。



浜口梧陵翁の肖像




現在の堤防（梧陵堤）
















「稲むらの火祭りから」

一目で分かる湯浅広川消防組合

管内情勢 人口・世帯数 消防予算				
	面積	人口	世帯数	消防予算(千円)
	湯浅町 20.79km ² 広川町 65.33km ² 計 86.12km ²	湯浅町 11,397人 広川町 6,761人 計 18,158人	湯浅町 5,335世帯 広川町 2,823世帯 計 8,158世帯	447,840

組織・施設				
	本部・署	消防職員	消火栓	防火水槽
	消防本部 1 消防署 1	47名	573基	89基

車両				
	タンク車	ポンプ車	救急車	救助工作車
	1台	1台	2台	1台
				
	水難救助車	軽四貨物車	消火・通報訓練指導車	その他 (防災指導車、広報車、軽多目的車、人員搬送車)
	1台	1台	1台	4台

災害件数				
	火災	救急	救助	警戒
	6件	997件	11件	10件
				
	危険排除			
	5件			

目次

	管内位置図	1
	構成町の紹介	2
	歴代役職員名	3～5
	消防の沿革	6～14
総務	組合の機構、消防庁舎の現況、管内面積、人口及び世帯数	15
	消防予算・職員の階級別勤続年数・職員の階級別年齢状況	16
	消防本部職員配置表・消防署職員配置表	17
	消防職員の資格取得状況	18
予防	防火対象物の現況・消防用設備設置件数	19
	予防関係届出処理状況・広報実施状況・訓練指導状況	20
	建築確認同意事務処理状況・建築確認同意事務町別状況・建築確認用途別申請内訳	21
	危険物施設数・危険物規制許認可事務処理状況・危険物関係申請、届出受理状況	22
	立入検査等実施状況・防火対象物定期点検及び特例認定状況	23
	防火管理の状況・防火管理者資格講習会実施状況	24
警防	消防通信系統図・無線電話保有状況・有線電話等保有状況	25
	消防相互応援協定・消防水利の現況	26
	主力機関の紹介	27
火災	火災発生の推移・町別火災種別状況	28
	火災の概況・火災覚知別表	29
	曜日別火災状況・出火時刻別火災状況	30
	月別火災状況・出火原因別火災状況	31
	気象別火災状況	32
	その他の出場状況	33
救急	救急出場の推移・事故別発生状況	34
	時間別出場状況・高度救命処置件数	35
	程度別搬送状況・病院照会件数	36
	救急資器材一覧表	37
救助	救助出場の推移・月別救助出場状況	38
	救助資器材一覧表	39

管内位置図



構成町の紹介



湯浅町役場



広川町役場

湯浅広川消防組合を構成する湯浅、広川の両町は、紀中有田郡の南端に位置し、白馬山脈から湯浅広港へ注ぐ清流広川を挟んで形成され、共に長い歴史と伝統に育かれた文化と自然豊かな町です。

歴代役員名

歴代管理者

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	寺西 清	昭和57年4月1日～昭和59年3月31日	湯浅町長
2代	石原 久男	昭和59年4月1日～昭和61年3月31日	広川町長
3代	寺西 清	昭和61年4月1日～昭和63年3月31日	湯浅町長
4代	石原 久男	昭和63年4月1日～平成2年3月31日	広川町長
5代	寺西 清	平成2年4月1日～平成4年3月31日	湯浅町長
6代	石原 久男	平成4年4月1日～平成6年3月31日	広川町長
7代	寺西 清	平成6年4月1日～平成6年11月27日	湯浅町長
8代	妻木 尚武	平成6年12月5日～平成8年3月31日	湯浅町長
9代	石原 久男	平成8年4月1日～平成10年3月31日	広川町長
10代	妻木 尚武	平成10年4月1日～平成12年3月31日	湯浅町長
11代	石原 久男	平成12年4月1日～平成14年3月31日	広川町長
12代	妻木 尚武	平成14年4月1日～平成16年3月31日	湯浅町長
13代	石原 久男	平成16年4月1日～平成17年9月24日	広川町長
14代	白倉 充	平成17年10月6日～平成18年3月31日	広川町長
15代	伏木 健	平成18年4月1日～平成20年3月31日	湯浅町長
16代	白倉 充	平成20年4月1日～平成22年3月31日	広川町長
17代	上山 章善	平成22年4月1日～平成24年3月31日	湯浅町長
18代	白倉 充	平成24年4月1日～平成25年9月24日	広川町長
19代	西岡 利記	平成25年10月22日～平成26年3月31日	広川町長
20代	上山 章善	平成26年4月1日～平成28年3月31日	湯浅町長
21代	西岡 利記	平成28年4月1日～平成30年3月31日	広川町長
22代	上山 章善	平成30年4月1日～令和2年3月31日	湯浅町長
23代	西岡 利記	令和2年4月1日～現在	広川町長

歴代副管理者

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	石原 久男	昭和57年4月1日～昭和59年3月31日	広川町長
2代	寺西 清	昭和59年4月1日～昭和61年3月31日	湯浅町長
3代	石原 久男	昭和61年4月1日～昭和63年3月31日	広川町長
4代	寺西 清	昭和63年4月1日～平成2年3月31日	湯浅町長
5代	石原 久男	平成2年4月1日～平成4年3月31日	広川町長
6代	寺西 清	平成4年4月1日～平成6年3月31日	湯浅町長
7代	石原 久男	平成6年4月1日～平成8年3月31日	広川町長
8代	妻木 尚武	平成8年4月1日～平成10年3月31日	湯浅町長
9代	石原 久男	平成10年4月1日～平成12年3月31日	広川町長
10代	妻木 尚武	平成12年4月1日～平成14年3月31日	湯浅町長
11代	石原 久男	平成14年4月1日～平成16年3月31日	広川町長
12代	妻木 尚武	平成16年4月1日～平成16年8月30日	湯浅町長
13代	伏木 健	平成16年11月30日～平成18年3月31日	湯浅町長
14代	白倉 充	平成18年4月1日～平成20年3月31日	広川町長
15代	伏木 健	平成20年4月1日～平成20年9月18日	湯浅町長
16代	上山 章善	平成20年9月19日～平成22年3月31日	湯浅町長
17代	白倉 充	平成22年4月1日～平成24年3月31日	広川町長
18代	上山 章善	平成24年4月1日～平成26年3月31日	湯浅町長
19代	西岡 利記	平成26年4月1日～平成28年3月31日	広川町長
20代	上山 章善	平成28年4月1日～平成30年3月31日	湯浅町長
21代	西岡 利記	平成30年4月1日～令和2年3月31日	広川町長
22代	上山 章善	令和2年4月1日～現在	湯浅町長

歴代議長

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	山口 政次	昭和57年4月1日～昭和58年11月9日	広川町議会議員
2代	林 芳楠	昭和58年11月10日～昭和62年8月4日	広川町議会議員
3代	木村 雅宥	昭和62年8月5日～平成3年12月4日	湯浅町議会議員
4代	中山 美輝夫	平成3年12月5日～平成6年3月3日	広川町議会議員
5代	木村 雅宥	平成6年3月4日～平成7年7月11日	湯浅町議会議員
6代	田中 修	平成7年7月12日～平成10年3月1日	広川町議会議員
7代	山下 邦弘	平成10年3月2日～平成12年2月29日	広川町議会議員
8代	山崎 幸雄	平成12年3月1日～平成14年3月5日	湯浅町議会議員
9代	畑中 秀敏	平成14年3月6日～平成15年9月25日	広川町議会議員
10代	北山 敏一	平成15年10月27日～平成16年3月2日	広川町議会議員
11代	山下 昌雄	平成16年3月3日～平成18年3月6日	湯浅町議会議員
12代	北山 敏一	平成18年3月7日～平成19年9月25日	広川町議会議員
13代	田中 修	平成19年10月31日～平成20年3月3日	広川町議会議員
14代	松本 典久	平成20年3月4日～平成22年3月9日	湯浅町議会議員
15代	檜原 淳奈	平成22年3月10日～平成24年2月28日	広川町議会議員
16代	松本 典久	平成24年2月29日～平成25年6月10日	湯浅町議会議員
17代	丸山 良章	平成25年6月25日～平成26年3月9日	湯浅町議会議員
18代	田中 修	平成26年3月10日～平成28年3月2日	広川町議会議員
19代	石橋 千歌子	平成28年3月3日～平成30年3月1日	湯浅町議会議員
20代	堀川 秀幸	平成30年3月2日～令和2年3月3日	広川町議会議員
21代	由良 祥治	令和2年3月4日～現在	湯浅町議会議員

歴代副議長

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	亀井 信次	昭和57年4月1日～昭和58年7月31日	湯浅町議会議員
2代	畑上 兼男	昭和58年8月1日～昭和62年8月4日	湯浅町議会議員
3代	大西 三郎	昭和62年8月5日～平成元年10月15日	広川町議会議員
4代	松林 洋行	平成元年10月16日～平成3年12月4日	広川町議会議員
5代	田中 修	平成3年12月5日～平成7年7月11日	広川町議会議員
6代	成田 浩一	平成7年7月12日～平成9年6月17日	湯浅町議会議員
7代	山崎 幸雄	平成9年12月5日～平成12年2月29日	湯浅町議会議員
8代	田中 修	平成12年3月1日～平成14年3月5日	広川町議会議員
9代	山下 昌雄	平成14年3月6日～平成16年3月2日	湯浅町議会議員
10代	沖 久雄	平成16年3月3日～平成18年3月6日	広川町議会議員
11代	松本 典久	平成18年3月7日～平成19年3月3日	湯浅町議会議員
12代	檜原 淳奈	平成19年3月4日～平成22年3月9日	広川町議会議員
13代	横矢 政明	平成22年3月10日～平成23年4月1日	湯浅町議会議員
14代	松本 典久	平成23年4月2日～平成24年2月28日	湯浅町議会議員
15代	岡崎 幸範	平成24年2月29日～平成26年3月9日	広川町議会議員
16代	小松 英夫	平成26年3月10日～平成27年10月28日	湯浅町議会議員
17代	石橋 千歌子	平成27年10月29日～平成28年3月2日	湯浅町議会議員
18代	梶原 和昌	平成28年3月3日～平成30年3月1日	広川町議会議員
19代	石橋 千歌子	平成30年3月2日～令和元年6月5日	湯浅町議会議員
20代	由良 祥治	令和元年6月6日～令和2年3月3日	湯浅町議会議員
21代	檜原 淳奈	令和2年3月4日～現在	広川町議会議員

歴代消防長

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	井角 武雄	昭和57年9月17日～昭和59年1月22日	
2代	岡田 敏男	昭和59年1月23日～昭和60年7月11日	
3代	中 盾夫	昭和60年7月12日～平成5年3月31日	
4代	竹内 久	平成5年4月1日～平成7年1月8日	
5代	須井 義和	平成7年1月9日～平成8年3月31日	
6代	山崎 哲男	平成8年4月1日～平成11年6月30日	
7代	山家 修	平成11年7月1日～平成11年11月17日	
8代	上山 章善	平成11年11月18日～平成12年3月31日	消防長事務取扱 (湯浅町助役)
9代	白倉 充	平成12年4月1日～平成14年3月31日	消防長事務取扱 (広川町助役)
10代	寺西 義次	平成14年4月1日～平成15年7月14日	
11代	黒川 博務	平成15年7月15日～平成16年12月31日	
12代	三橋 雄作	平成17年1月1日～平成20年3月31日	
13代	辻岡 尚男	平成20年4月1日～平成29年3月31日	
14代	大西 和彦	平成29年4月1日～平成30年3月31日	
15代	上田 哲也	平成30年4月1日～平成31年3月31日	
16代	牛居 初穂	平成31年4月1日～令和3年3月31日	
17代	梅本 哲生	令和3年4月1日～現在	

歴代次長

6代	弓場 守	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
7代	梅本 哲生	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
8代	大西 裕	令和3年4月1日～現在	

平成31年4月1日から次長署長の兼任を解く。

歴代署長

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	大西 辰次	昭和57年4月1日～平成19年3月31日	
2代	辻岡 尚男	平成19年4月1日～平成20年3月31日	
3代	大西 和彦	平成20年4月1日～平成29年3月31日	
4代	上田 哲也	平成29年4月1日～平成30年3月31日	
5代	牛居 初穂	平成30年4月1日～平成31年3月31日	
6代	須佐見 敏夫	平成31年4月1日～令和3年3月31日	
7代	竹中 隼人	令和3年4月1日～現在	

平成31年3月31日までは、署長が次長を兼任している。

昭和57年	2月	湯浅広川消防組合設立県知事許可	
	4月	湯浅広川消防組合設立 管理者に 湯浅町長 寺西 清氏 就任 新規職員17名採用し県消防学校初任教育に入校 湯浅町より2名、広川町より2名職員派遣 大西 辰次(署長心得)消防大学校に入校(広川町から派遣)	
	7月	ホンダスーパーカブ70CC購入	
	8月	湯浅町消防団事務所を消防本部消防署に改築	
	9月	初代消防長に 井角 武雄 就任(湯浅町から派遣) 県消防学校初任教育17名修了 大西 辰次消防大学校卒業	
	10月	湯浅広川消防組合消防本部消防署業務開始(総員22名) ポンプ車、積載車、救急車、各1台 (救急車については日本自動車工業会より寄贈される)	
	昭和58年	3月	吉備金屋消防組合(有田川町消防本部)との間に消防相互応援協定を締結
		5月	訓練塔を設置
		6月	第12回県下消防救助技術会へ出場(4名)
		7月	第12回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(2名)
昭和59年	9月	広報車を購入	
	1月	消防長に 岡田 敏男 就任(湯浅町から派遣)	
	4月	管理者に 広川町長 石原 久男氏 就任	
昭和60年	6月	ホンダスーパーカブ50CC購入 第13回県下消防救助技術会へ出場(4名)	
	7月	第13回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(1名) 昭和60年1月職員1名退職(総員21名)	
	4月	新規職員1名採用し県消防学校初任教育に入校(総員22名)	
	6月	第14回県下消防救助技術会へ出場(2名)	
	7月	第14回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(2名) 消防長に 中 盾夫 就任(湯浅町から派遣)	
昭和61年	9月	職員1名消防大学校火災調査講習会修了 県消防学校初任教育1名修了 昭和61年1月職員1名消防協会有田支部長より表彰される	
	3月	和歌山県農協共済福祉協会より救急車1台寄贈される	
	4月	管理者に 湯浅町長 寺西 清氏 就任	
	6月	第15回県下消防救助技術会へ出場(3名)	
	7月	第15回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(2名)	
昭和62年	11月	職員2名県消防学校救急専科教育修了	
	4月	新規職員1名採用し県消防学校初任教育に入校(総員23名)	
	6月	第16回県下消防救助技術会へ出場(3名)	
昭和63年	9月	県消防学校初任教育1名修了	
	11月	職員2名県消防学校救急専科教育修了	
	1月	日高広域消防事務組合との間に消防相互応援協定を締結 職員1名消防協会有田支部長より表彰される	
	2月	和歌山県消防職員意見発表会にて最優秀賞受賞	
	4月	管理者に 広川町長 石原 久男氏 就任 新規職員1名採用し県消防学校初任教育に入校(総員24名) 東近畿支部消防職員意見発表会出場	
平成元年	6月	第17回県下消防救助技術会へ出場(5名)	
	9月	県消防学校初任教育1名修了	
	11月	職員2名県消防学校救急専科教育修了	
	2月	和歌山県消防職員意見発表会にて最優秀賞受賞	
	3月	軽貨物車購入	
	4月	新規職員1名採用し県消防学校初任教育に入校(総員25名) 東近畿支部消防職員意見発表会出場	
	6月	第18回県下消防救助技術会へ出場(5名)	
	8月	吉備町で行われた和歌山県総合防災訓練へ参加	
	9月	県消防学校初任教育1名修了	

	10月	甲種防火管理者資格講習会実施
	11月	職員2名県消防学校専科教育救助科修了 集団救急事故想定訓練を湯浅町で実施
	12月	小型動力ポンプ付水槽車購入 職員1名県消防学校救急専科教育修了
平成2年	1月	職員1名消防協会有田支部長より表彰される
	4月	管理者に 湯浅町長 寺西 清氏 就任
	5月	職員1名和歌山県知事より功労章を受章する
	6月	第19回県下消防救助技術会へ出場(5名)
	7月	兼任救助隊を設置
	11月	職員2名県消防学校専科教育救助科修了
平成3年	6月	第20回県下消防救助技術会へ出場(5名)
	9月	甲種防火管理者資格講習会実施
	11月	職員2名県消防学校専科教育救助科修了
平成4年	1月	職員1名消防協会有田支部長より表彰される
	4月	管理者に 広川町長 石原 久男氏 就任
	6月	第21回県下消防救助技術会へ出場(6名)
	7月	第21回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(1名) 職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
	9月	集団救急事故想定訓練を湯浅町で実施
	11月	職員2名県消防学校専科教育救助科修了 消防本部・消防署業務開始10周年式典を挙行
	12月	職員1名県消防学校専科教育予防科修了
平成5年	3月	日本自動車工業会より救急車1台寄贈される 湯浅町、広川町災害弱者緊急通報システム運用開始
	4月	消防長に 竹内 久 就任(湯浅町から派遣)
	5月	職員1名和歌山県知事より功労章を受章する
	6月	第22回県下消防救助技術会へ出場(2名)
	7月	第22回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(2名)
	8月	積載車を購入、救助工作車として運用する
	9月	吉備町で行われた集団救急事故想定訓練に参加 職員6名(救急隊3名、救助隊3名)国道42号線上の救急救助活動により管理者から表彰される
	11月	職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
平成6年	1月	職員1名消防協会有田支部長より表彰される
	3月	職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
	4月	管理者に 湯浅町長 寺西 清氏 就任 新規職員2名採用し県消防学校初任教育に入校(総員27名) 湯浅広川消防組合、有田消防組合、日高広域消防事務組合において中紀組合消防連絡協議会発足
	5月	職員1名和歌山県消防協会会長より功績章を受章する
	9月	県消防学校初任教育2名修了 集団救急事故想定訓練を湯浅町で実施
	10月	原動機付自転車購入
	11月	職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
	12月	管理者に 湯浅町長 妻木 尚武氏 就任 職員2名県消防学校専科教育救助科修了 事務所、会議室、仮眠室 車庫の増築完了
平成7年	1月	消防長に 須井 義和 就任(湯浅町から派遣) 阪神・淡路大震災において職員2名救助隊員として派遣
	2月	職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅰ課程修了
	3月	職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了 職員1名派遣を解き湯浅町に帰任する(総員26名)
	4月	新規職員1名採用し県消防学校初任教育に入校(総員27名)
	6月	第24回県下消防救助技術会へ出場(6名) 甲種防火管理者資格講習会実施
	7月	広報車購入
	8月	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車(CD-1)を寄贈され受納式を挙行
	9月	県消防学校初任教育1名修了 吉備町で行われた集団救急事故想定訓練に参加

平成 8 年	1 1月	職員 2 名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了 職員 2 名県消防学校応急手当指導員講習Ⅰ修了 広川町津波避難訓練参加
	1 2月	職員 2 名県消防学校専科教育予防科修了
	1 月	職員 1 名消防協会有田支部長より表彰される
	2 月	湯浅御坊道路消防相互応援協定を締結 湯浅御坊道路消防相互応援協定に基づく覚書を締結 和歌山県防災ヘリコプター応援協定を締結 人員搬送車購入
	3 月	職員 2 名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了 和歌山県下消防広域相互応援協定を締結 和歌山県下消防広域相互応援協定に基づく覚書を締結 有田市・有田消防組合・湯浅広川消防組合消防相互応援協定を締結 有田市・有田消防組合・湯浅広川消防組合消防相互応援協定締結に基づく覚書を締結 湯浅御坊道路開通
	4 月	管理者に 広川町長 石原 久男氏 就任 消防長に 山崎 哲男 就任（湯浅町から派遣） 新規職員 1 名採用し県消防学校初任教育に入校（総員 2 8 名）
	5 月	第 1 1 回職員救助練成会開催
	6 月	第 2 5 回県下消防救助技術会へ出場（6 名）
	7 月	第 2 5 回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場（6 名）
	8 月	職員 1 名退職（総員 2 7 名）
平成 9 年	9 月	広川町津波避難訓練参加 第 1 回吉備町総合防災訓練に参加 県消防学校初任教育 1 名修了
	1 0月	湯浅広川消防組合消防職員委員会発足
	1 1月	職員 2 名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了 職員 2 名県消防学校応急手当指導員講習Ⅰ修了 職員 1 名退職（総員 2 6 名） 近畿府県合同防災訓練へ参加
	1 2月	職員 2 名県消防学校専科教育救助科修了
	1 月	職員 2 名県消防学校幹部教育中級幹部科修了 第 1 回消防職員委員会開催
	2 月	山之内製薬会社より救急車 1 台寄贈される 職員 2 名（財）消防科学総合センター火災原因調査入門講座修了
	3 月	職員 2 名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了 職員 2 名（湯浅町 1 名、広川町 1 名）派遣を解き両町に帰任する（総員 2 4 名） 消防本部・署の機構改革実施、3 部制を導入する 和歌山市消防局と医療資器材等搬送応援協定（継続）を締結
	4 月	新規職員 5 名採用し県消防学校初任教育に入校（総員 2 9 名） 湯浅広川消防組合応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱施行
	6 月	第 2 6 回県下消防救助技術会へ出場（6 名）
	8 月	第 3 4 回和歌山県防災総合訓練へ参加
平成 1 0 年	9 月	県消防学校初任教育 5 名修了 集団救急事故想定訓練を広川町で実施
	1 0月	職員 1 名救急救命士養成所東京研修所へ派遣 湯浅御坊道路防災訓練へ参加 行幸啓消防特別警備実施（天皇皇后両陛下たちばな養護学校）
	1 1月	職員 2 名県消防学校応急手当指導員講習Ⅰ修了 職員 2 名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了 小型ポンプ軽積載車購入 第 2 回消防職員委員会開催
	1 2月	鉄骨 1 階建車庫の増築及び駐車場整備完了し、建築面積 4 7 4 . 6 9 m ² 、延べ面積 6 2 7 . 6 6 m ² となる。
	1 月	職員 1 名消防協会有田支部長より表彰される
	3 月	職員 1 名救急救命士東京研修所卒業 職員 2 名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
4 月	管理者に 湯浅町長 妻木 尚武氏 就任	

		職員 1 名救急救命士国家試験に合格 新規職員 1 名採用し県消防学校初任科入校（総員 3 0 名）
	5 月	第 1 3 回職員救助練成会開催
	6 月	第 2 7 回県下消防救助技術会へ出場（5 名）
	7 月	甲種防火管理者資格講習会実施（2 4 名受講）
	8 月	第 2 7 回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場（3 名）
	9 月	県消防学校初任教育 1 名修了
平成 1 1 年	1 0 月	職員 2 名救急救命士養成のため東京及び神戸研修所に派遣
	2 月	水槽付小型消防自動車購入
	3 月	職員 2 名救急救命士・東京及び神戸研修所卒業 職員 2 名救急標準課程修了
	4 月	職員 2 名救急救命士国家試験に合格 新規職員 1 名採用し県消防学校初任科入校（総員 3 1 名）
	6 月	第 2 8 回県下消防救助技術会へ出場（6 名）
	7 月	消防長に 山家 修 就任（湯浅町から派遣） 第 2 8 回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場（3 名） 甲種防火管理者資格講習会実施
	9 月	集団救急事故想定訓練を広川町で実施 県消防学校初任教育 1 名修了
	1 0 月	高規格救急車購入
	1 1 月	高規格救急車運用開始 1 名湯浅町からの派遣を解き、湯浅町に帰任（総員 3 0 名） 消防長事務取扱に 上山 章善 就任（湯浅町助役） 防災指導車購入 職員 2 名県消防学校専科教育予防科火災調査課程修了
平成 1 2 年	1 月	職員 1 名消防協会有田支部長より表彰される
	3 月	職員 3 名救急標準課程修了 救助用ボート購入
	4 月	管理者に 広川町長 石原 久男氏 就任 消防長事務取扱に 白倉 充 就任（広川町助役） 職員 1 名救急救命士養成所東京研修所へ派遣
	6 月	第 2 9 回県下消防救助技術会へ出場（9 名）
	7 月	第 2 9 回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場（6 名）
	9 月	職員 1 名救急救命士東京研修所卒業 救助工作車購入
	1 0 月	職員 1 名救急救命士国家試験に合格
	1 1 月	職員 2 名県消防学校専科教育救助科修了 近畿府県合同防災訓練に参加
平成 1 3 年	3 月	職員 3 名救急標準課程修了
	5 月	林野火災警防演習訓練 （防災航空隊・湯浅町消防団・広川町消防団参加）
	6 月	第 3 0 回県下消防救助技術会へ出場（7 名）
	7 月	第 3 0 回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場（3 名）
	9 月	職員 1 名救急救命士・東京研修所卒業 集団救急事故訓練を湯浅町で実施
	1 0 月	職員 1 名県消防学校専科教育警防科修了
	1 1 月	職員 1 名県消防学校専科教育予防科火災調査課程修了 職員 1 名救急救命士国家試験に合格
平成 1 4 年	1 月	職員 1 名消防協会有田支部長より表彰される
	3 月	職員 1 名救急標準課程修了
	4 月	管理者に 湯浅町長 妻木 尚武氏 就任 消防長に 寺西 義次 就任（湯浅町から派遣）
	6 月	第 3 1 回県下消防救助技術会へ出場（6 名）
	7 月	第 3 1 回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場（6 名）
	1 0 月	甲種防火管理者資格講習会実施
平成 1 5 年	2 月	ドクターヘリ合同訓練実施
	6 月	第 3 2 回県下消防救助技術会へ出場（8 名）
	7 月	消防長に 黒川 博務 就任（湯浅町から派遣）

		第32回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場（9名）
		平成15年度防災航空隊連携訓練実施
	8月	第32回全国消防救助技術大会へ出場（3名）
	9月	和歌山県下（紀中ブロック）緊急消防援助隊合同訓練実施
平成16年	11月	職員2名県消防学校専科教育予防科火災調査課程修了
	1月	職員1名消防協会有田支部長より表彰される
	3月	高規格救急車購入
	4月	管理者に 広川町長 石原 久男氏 就任
	6月	第33回県下消防救助技術会へ出場（8名）
	7月	第33回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場（3名）
	9月	有田市で行われた和歌山県総合防災訓練へ参加
	11月	職員2名県消防学校救急救命士気管挿管講習課程修了
平成17年	12月	職員2名県消防学校専科教育救助科修了
	1月	消防長に 三橋 雄作 就任（湯浅町から派遣）
		職員1名消防協会有田支部長より表彰される
	6月	第34回県下消防救助技術会へ出場（7名）
	7月	第34回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場（3名）
	9月	職員1名救急救命士・東京研修所卒業 集団救急事故訓練を湯浅町で実施
	10月	管理者に 広川町長 白倉 充氏 就任 職員1名県消防学校専科教育特殊災害科修了 近畿府県合同防災訓練に参加
	11月	職員2名県消防学校救急救命士気管挿管講習課程修了
平成18年	1月	職員1名消防協会有田支部長より表彰される
	3月	職員1名和歌山県消防協会会長より功労賞を授与する
	4月	管理者に 湯浅町長 伏木 建氏 就任 有田市・湯浅広川消防組合・有田川町消防相互応援協定を締結
	6月	第35回県下消防救助技術会へ出場（5名）
	7月	職員1名救急救命士薬剤投与追加講習修了
	8月	第35回全国消防救助技術大会へ出場（3名）
	10月	平成18年度防災航空隊連携訓練実施 職員1名県消防学校救急救命士気管挿管講習課程修了
	11月	緊急援助隊中紀ブロック訓練に参加
平成19年	1月	職員1名消防協会有田支部長より表彰される
	3月	ポンプ車購入 人員搬送車購入
	4月	新規職員2名採用し県消防学校初任教育に入校（総員32名）
	5月	職員1名救急救命士薬剤投与追加講習終了 湯浅広川消防組合、有田川町消防本部、有田市消防本部において、有田地域消防連絡協議会発足
	6月	広報車購入 第36回県下消防救助技術会へ出場（5名）
	8月	財団法人宝くじ協会より消火通報訓練指導車「けすゾウくん」を寄付される。
	9月	県消防学校初任教育2名修了
	11月	職員1名県消防学校専科教育予防科火災調査課程修了
平成20年	1月	職員1名消防協会有田支部長より表彰される
	3月	職員2名救急標準課程修了
	4月	管理者に 広川町長 白倉 充氏 就任 消防長に 辻岡 尚男 就任 新規職員1名採用し県消防学校初任教育科入校（総員32名）
	5月	職員1名救急救命士薬剤投与追加講習終了
	6月	第37回県下消防救助技術会へ出場（7名） 職員1名退職（総員31名）
	7月	職員1名消防大学校火災調査科修了
	8月	平成20年度緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練に参加
	9月	県消防学校初任教育1名修了
	10月	職員1名県消防学校幹部教育上級幹部科修了 林野火災警防演習訓練 （防災航空隊・湯浅町消防団・広川町消防団参加）

平成21年	1 1月	職員1名県消防学校専科教育救助科修了 平成20年度防災航空隊連携訓練実施
	1 2月	職員1名県消防学校専科教育特殊災害科修了
	1 月	職員1名消防協会有田支部長より表彰される
	3月	職員1名救急救命士・九州研修所卒業 職員1名救急標準課程修了
	4月	職員1名救急救命士国家試験に合格 新規職員1名採用し県消防学校初任教育科入校（総員32名）
	6月	第38回県下消防救助技術会へ出場（8名） 平成21年度合同水難救助訓練実施 （有田川町消防本部・湯浅警察署参加）
	7月	職員1名救急救命士薬剤投与追加講習終了
平成22年	9月	県消防学校初任教育1名修了
	1 1月	職員1名県消防学校専科教育警防科修了 緊急援助隊中紀ブロック訓練に参加
	1 2月	職員1名県消防学校幹部教育中級幹部科修了
	1 月	職員1名消防協会有田支部長より表彰される
	3月	職員3名和歌山県知事より功労章を表彰される 職員1名和歌山県知事より永年勤続功労章を表彰される
	4月	職員1名県消防学校専科教育救急科修了 管理者に 湯浅町長 上山 章善氏 就任 職員1名救急救命士国家試験に合格 有田市消防本部・有田川町消防本部・湯浅広川消防組合 消防本部・日高広域消防事務組合消防本部・御坊市消防本部において紀中消防連絡協議会を発足
	5月	高規格救急車購入
	6月	第39回県下消防救助技術会へ出場（10名）
	8月	職員1名全国消防協会より全国優良消防職員表彰される
	9月	職員1名救急救命士薬剤投与追加講習終了 水難救助車購入 集団救急事故訓練を湯浅町で実施
平成23年	1 1月	職員1名県消防学校専科教育救助科修了 潜水隊発足（隊員9名）
	1 2月	職員1名県消防学校専科教育予防科修了
	1 月	職員1名消防協会有田支部長より表彰される
	3月	東日本大震災において職員6名を緊急消防援助隊として宮城県石巻市へ派遣 職員3名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰永年勤続 功労章を表彰される
	4月	新規職員2名採用し県消防学校初任教育科入校（総員34名）
	5月	平成23年度合同水難訓練実施（海上保安庁、泉佐野消防本部）
	7月	職員1名救急救命士薬剤投与追加講習修了
平成24年	9月	県消防学校初任教育2名修了 平成23年度合同水難救助訓練を実施（有田市消防本部） 台風12号において職員6名を和歌山県下消防広域応援隊として新宮市へ派遣
	1 0月	緊急援助隊中紀ブロック訓練に職員3名が参加
	1 2月	職員1名県消防学校専科教育中級幹部科修了
	1 月	職員1名消防協会有田支部長より表彰される
	3月	職員3名和歌山県知事より功労章を表彰される 職員1名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰永年勤続功労章を表彰される 職員13名全国消防長会長より全国消防長会永年勤続功労者表彰30年勤続を表彰される
	4月	管理者に 広川町長 白倉 充氏 就任
	7月	平成24年度合同水難訓練を実施（海上保安庁、日高広域消防事務組合消防本部、御坊市消防本部）
	8月	平成24年度合同水難救助訓練を実施（御坊市消防本部、日高広域消防事務組合消防本部）
	1 1月	職員1名県消防学校専科教育警防科修了 平成24年度阪和自動車道路防災訓練実施
	1 2月	職員2名県消防学校専科教育救助科修了 職員1名県消防学校専科教育初級幹部科修了
平成25年	1 月	職員1名消防協会有田支部長より表彰される
	3月	職員1名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰永年勤続功労章を表彰される

	4月	新規職員2名採用し県消防学校初任教育科1名入校（総員36名）
	6月	第42回県下消防救助技術会へ出場（10名）
	7月	職員1名退職（総員35名） 平成25年度警察、消防合同水難訓練を実施 （有田川町消防本部、有田市消防本部、湯浅警察署）
	8月	有田市合同水難救助訓練を実施
	9月	新規職員1名採用（総員36名） 県消防学校初任教育科1名修了
	10月	管理者に 広川町長 西岡 利記氏 就任 職員2名県消防学校火災調査科修了
平成26年	11月	職員1名県消防学校予防査察科修了
	1月	職員1名消防協会有田支部長より表彰される
	3月	職員2名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰永年勤続功労章を表彰される 職員1名和歌山県知事より功労章を表彰される 職員2名県消防学校専科教育救急科修了
	4月	管理者に 湯浅町長 上山 章善氏 就任 職員1名県消防学校初任教育科入校
	6月	第43回県下消防救助技術大会へ出場（8名） 平成26年度警察・消防合同水難訓練を実施（有田川町消防本部、有田市消防本部、湯浅警察署）
	7月	職員3名救急救命士処置拡大追加講習修了
	9月	兵庫県火災調査研修に参加（4名） 有田市消防本部合同水難訓練を実施（9名） 職員1名県消防学校初任教育科修了
	10月	職員1名県消防学校専科教育上級幹部科修了 緊急消防援助隊近畿ブロック訓練に参加（7名）
平成27年	1月	職員1名消防協会有田支部長より表彰される
	3月	職員2名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰永年勤続功労章を表彰される 職員3名和歌山県知事より功労章を表彰される 職員1名全国消防長会会長より全国消防長会永年勤続功労者表彰30年勤続を表彰される 職員1名救急救命士・東京研修所卒業 職員1名県消防学校専科教育救急科修了
	4月	職員1名救急救命士国家試験に合格 湯浅広川消防組合新庁舎竣工式 湯浅広川消防組合新庁舎業務開始
	6月	第44回県下消防救助技術大会へ出場（9名）
	7月	平成27年合同水難訓練を実施（湯浅警察、有田川町消防本部、有田市消防本部） 職員1名救急救命士薬剤投与追加講習終了
	10月	緊急消防援助隊近畿ブロック訓練に参加（3名） 職員1名県消防学校専科教育中級幹部科修了
	11月	職員1名県消防学校火災調査科修了
	12月	職員1名和歌山県消防学校専科教育警防科修了 有田郡市集団災害訓練に参加（7名）
平成28年	1月	職員1名消防協会有田支部長より表彰される
	3月	職員1名県消防学校通信指令専科修了 職員1名和歌山県知事より功労章を表彰される 職員1名救急救命士・東京研修所卒業
	4月	管理者に 広川町長 西岡 利記氏 就任 職員1名救急救命士国家試験に合格 新規職員2名採用し県消防学校初任教育科入校（総員38名） 警察合同防災訓練実施
	6月	第45回県下消防救助技術大会へ出場（9名）
	8月	有田市合同水難救助訓練を実施
	9月	緊急消防援助隊紀中ブロック訓練実施（5名） 県消防学校初任教育科2名修了・続いて専科教育救急科に入校 救助潜waters研修参加（1名）
	10月	救助潜水訓練士講習参加（1名）
	12月	県消防学校専科教育救急科2名修了
平成29年	1月	職員1名消防協会有田支部長より表彰される

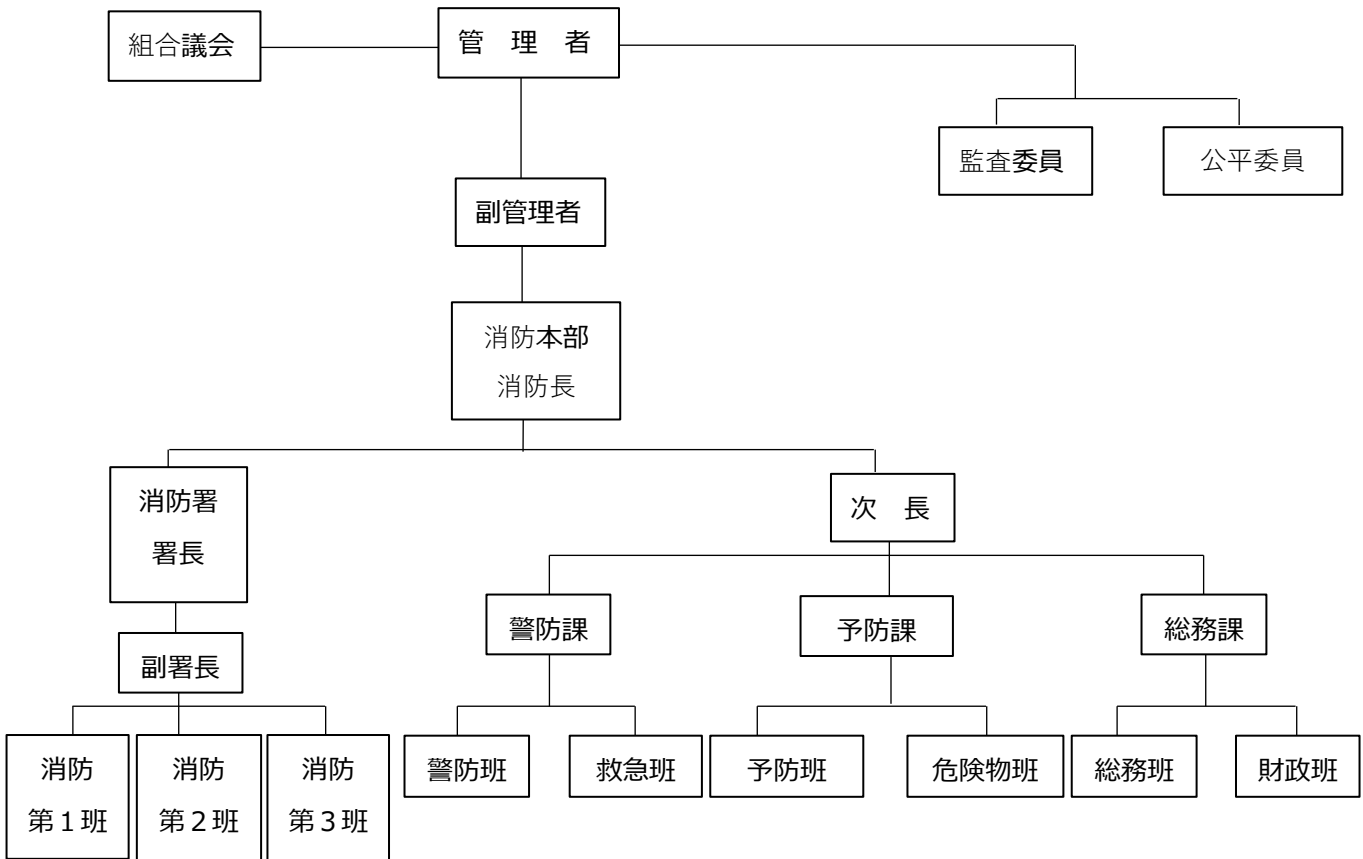
		平成28年度集団救急事故訓練実施
	3月	タンク車購入 太陽光発電設備設置事業完成（太陽光発電設備10kW、蓄電池設備15kWh） 職員1名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰功労章を表彰される 職員1名全国消防長会会長より全国消防長会永年勤続功労者表彰30年勤続を表彰される 職員1名退職（総員37名） 阪和自動車道、湯浅御坊道路、関西空港自動車道及び京奈和自動車道消防相互応援協定を締結
	4月	消防長に 大西 和彦 就任 新規採用職員1名採用し県消防学校初任教育入校（総員38名）
	6月	第46回県下消防救助技術大会へ出場（9名） 潜水隊2名合同潜水訓練参加（那智勝浦町消防本部他県内6消防本部）
	9月	平成29年有田市合同水難訓練参加（有田警察署、有田市消防本部、有田川町消防本部） 平成29年警察・消防合同訓練参加（湯浅警察署、有田市消防本部、有田川町消防本部） 湯浅・広川両町消防団及び和歌山県防災航空隊との連携訓練実施 職員1名県消防学校初任教育修了
	10月	高規格救急車購入 職員1名県消防学校特別教育水難救助教育修了 職員1名県消防学校特別教育潜水救助教育修了
	11月	湯浅町防災フェスタ開催 県下消防職員体育訓練大会（第17回駅伝大会）参加（8名） 職員1名県消防学校専科教育救助科修了 職員2名県消防学校特別教育ポンプ操法指導員教育修了
	12月	職員1名県消防学校特別教育自然災害対応教育修了 職員1名県消防学校幹部教育初級幹部科修了
平成30年	1月	職員1名消防協会有田支部長より表彰される
	3月	職員1名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰功労章を表彰される 職員1名県消防学校専科教育救急科修了 職員1名全国消防長会会長より全国消防長会永年勤続功労者表彰30年勤続を表彰される 職員2名退職（総員36名）
	4月	管理者に 湯浅町長 上山 章善氏 就任 消防長に 上田 哲也 就任 新規採用職員4名採用し県消防学校初任教育入校（総員40名）
	6月	第46回県下消防救助技術大会へ出場（9名）
	8月	平成30年警察・消防合同訓練（湯浅警察、有田川町消防本部、有田市消防本部）
	9月	防災指導車購入 職員1名救急救命士・東京研修所卒業 職員4名県消防学校初任教育修了
	10月	職員1名県消防学校特別教育水難救助教育修了 職員1名県消防学校特別教育潜水救助教育修了 職員1名県消防学校中級幹部科修了
	11月	職員2名県消防学校火災調査科修了
	12月	職員1名県消防学校専科教育特殊災害科修了 職員1名県消防学校上級幹部科修了
令和元年	1月	職員1名有田地域消防協会会長より表彰される 職員1名和歌山県消防協会会長より20年勤続を表彰される
	2月	職員1名消防大学校幹部科修了
	3月	職員1名全国消防長会会長より全国消防長会永年勤続功労者表彰30年勤続を表彰される 職員1名日本消防協会会長より日本消防協会会長表彰30年勤続章を表彰される 職員1名和歌山県知事より和歌山県知事表彰永年勤続功労章を表彰される 職員1名和歌山県消防協会総裁より和歌山県消防協会総裁表彰功績章を表彰される 職員2名消防庁長官より消防庁長官表彰永年勤続功労章を表彰される 職員3名県消防学校専科教育救急科修了 軽多目的車購入 職員3名退職（総員37名） 職員1名救急救命士国家試験に合格
	4月	消防長に 牛居 初穂 就任 職員1名再任用、新規採用職員2名採用し県消防学校初任教育入校（総員40名）
	6月	第47回県下消防救助技術大会へ出場（8名）

	7月	職員1名消防大学校幹部科修了
	9月	職員1名県消防学校特別教育水難救助教育修了 職員2名県消防学校初任教育修了
	10月	職員1名県消防学校特別教育潜水救助教育修了
	11月	県下消防職員体育訓練大会(第18回駅伝大会)参加(7名) 職員1名専科教育救助科修了 職員1名専科教育警防科修了 救助工作車購入
	12月	職員1名特別教育自然災害対応教育修了 職員1名幹部教育初級幹部科修了
令和2年	1月	職員1名有田地域消防協会長より表彰される 職員1名和歌山県消防協会長より20年勤続を表彰される
	3月	職員1名和歌山県知事より永年勤続功労章を表彰される 職員1名日本消防協会長より勤続章(30年)を表彰される 職員2名県消防学校専科教育救急科修了 職員1名退職(総員39名) 職員1名救急救命士国家試験に合格
	4月	管理者に 広川町長 西岡 利記氏 就任 新規採用職員3名採用し、県消防学校初任教育入校(総員42名)
	9月	職員3名県消防学校初任教育修了
	10月	職員1名救急救命士・東京研修所卒業
	11月	職員2名県消防学校専科教育救急科修了
令和3年	1月	職員1名有田地域消防協会長より表彰される
	2月	職員1名消防大学校幹部科修了 職員1名県消防学校専科教育救急科修了
	3月	職員1名消防庁長官表彰永年勤続功労章を表彰される。 職員1名日本消防協会長より精績章を表彰される 職員1名和歌山県消防協会長より功績賞を表彰される。 職員1名救急救命士国家試験に合格 職員2名退職(総員40名)
	4月	消防長に 梅本 哲生 就任 職員2名再任用、新規採用職員5名採用し県消防学校初任教育入校(総員47名)
	6月	第49回県下消防救助技術大会へ出場(3名)
	7月	職員1名消防大学校幹部科修了 職員1名消防大学校火災調査科修了
	9月	職員5名県消防学校初任教育修了
	10月	職員1名県消防学校上級幹部科修了 職員1名県消防学校潜水救助教育修了
	12月	職員1名県消防学校専科教育救助科修了 令和3年度緊急援助隊近畿ブロック合同訓練参加(4名) 職員1名県消防学校専科教育警防科修了 職員1名兵庫県消防学校令和3年度特別教育「通信指令科」修了

総

務

組合の機構



消防庁舎の現況

湯浅広川消防組合消防本部 電話 (0737) 64-0119
 湯浅広川消防組合消防署 FAX (0737) 63-6626
 地域防災センター

所在地：和歌山県有田郡湯浅町大字青木670番地
 本庁舎：延べ面積 930.57㎡
 防災センター：延べ面積 299.56㎡
 車庫：延べ面積 356.63㎡
 訓練塔：延べ面積 162.25㎡
 補訓練塔：延べ面積 36.00㎡
 自家給油取扱所：10kℓ地下タンク（ガソリン6,000ℓ、軽油4,000ℓ）
 太陽光発電設備：太陽光発電設備10kW・蓄電池設備15kW

管内面積、人口及び世帯数

(令和3年 12月31日現在)

	湯浅町	広川町	合計
面積	20.79 km ²	65.33 km ²	86.12 km ²
人口	11,397	6,761	18,158
世帯数	5,335	2,823	8,158

消防予算

4月1日基準の人口・世帯数

	消 防 組 合 決算額 (千円)	構成町一般会計 決算総額 (千円)	構成町消防費 決算総額 (千円)	人 口 (人)	世帯数 (戸)
平成30年度	445,721	15,824,505	596,230	19,369	8,275
令和元年度	466,536	16,336,236	602,889	19,033	8,255
令和2年度	432,676	19,835,333	597,630	18,711	8,231
令和3年度	447,840	14,482,588	590,480	18,394	8,218

※ 令和3年 年度のみ当初予算

職員の階級別勤続年数

(令和3年12月31日現在)

	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
5年未満						15	15
5年以上～10年未満				1	3	1	5
10年以上～15年未満			1	4	1		6
15年以上～20年未満							0
20年以上～25年未満			7				7
25年以上	1	9	3	1			14
合 計	1	9	11	6	4	16	47

職員の階級別年齢状況

(令和3年12月31日現在)

	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
25歳未満						10	10
25歳以上～30歳未満					3	6	9
30歳以上～35歳未満				2	1		3
35歳以上～40歳未満			1	3			4
40歳以上～45歳未満			3				3
45歳以上～50歳未満			5				5
50歳以上～55歳未満		5					5
55歳以上～60歳未満		3					3
60歳以上	1	1	2	1			5
合 計	1	9	11	6	4	16	47

消防本部職員配置表

(令和3年 1 2月 3 1日現在)

	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
消防長	1						1
次長		1					1
課長		3					3
副課長		3					3
総務班長兼係長			1				1
財政班長兼係長			1				1
総務主任							0
財政主任							0
総務係員					1	2	3
財政係員						3	3
予防班長			1				1
危険物班長			1				1
予防係長			1				1
危険物係長				1			1
予防主任				1			1
危険物主任							0
予防係員						1	1
危険物係員						1	1
警防班長			1				1
救急班長			1				1
警防係長				1			1
救急係長				1			1
警防主任				1			1
救急主任							0
警防係員						9	9
救急係員					3		3
総務課付 再任用			2	1			3
合 計	1	7	9	6	4	16	43

消防署職員配置表

(令和3年 1 2月 3 1日現在)

	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
署長		1					1
副署長		1					1
消防班長			3				3
消防副班長			3				3
消防班員			3	5	4	15	27
消防班勤務		1					1
合 計	0	3	9	5	4	15	36

消防職員の資格取得状況

(令和3年 12月31日現在)

	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
大型第1種	1	3	4	1			9
大型特殊		1	1				2
普通第1種 (準中型・中型第1種を 含む)	1	9	11	6	4	16	47
小型船舶操縦士	1	3	8	5	1	1	19
小型移動式クレーン	1	7	10	5	4	7	34
救急Ⅰ課程	1	8	2	1			12
救急Ⅱ課程	1	8	2	1			12
救急標準課程		1	9	5	4	10	29
救急救命士		3	4	2	2	1	12
特殊無線技士	1	9	11	6	4	16	47
消防設備士(乙種)	1		2	1			4
危険物取扱者 (甲,乙,丙)	1	5	6	2		1	15
酸素欠乏 危険作業主任者		3	6				9
ガス溶接技能講習	1	4	2	1			8
アーク溶接業務 特別教育		2	2				4
玉掛け技能講習	1	5	10	5	4	4	29
足場組立作業主任者			1				1
自動車3級整備士		2					2
フォークリフト技能講習		2	1				3
第2種電気工事士			2	1			3
特定化学物質等 取扱作業主任者			1				1
潜水士	1	1	7	5	3	4	21
救助潜水訓練士	1		3				4
予防技術検定 (危険物)		4	3	2			9
予防技術検定 (設備)		4	2	1			7
予防技術検定 (査察)		4	4	3		1	12

予

防

防火対象物の現況

(令和3年 12月31日現在)

町 別		湯 浅 町	広 川 町	計
1 項	イ	1		1
	ロ	14	19	33
2 項	イ			
	ロ	1		1
	ハ			
3 項	イ			
	ロ	8	1	9
4 項		19	1	20
5 項	イ	13	4	17
	ロ	49	13	62
6 項	イ	6	3	9
	ロ	6	6	12
	ハ	9	7	16
7 項	イ	1	1	2
	ロ	8	7	15
8 項		1	4	5
9 項	イ			
	ロ	1	1	2
10 項		1		1
11 項		3	1	4
12 項	イ	40	31	71
	ロ			
13 項	イ	7	1	8
	ロ			
14 項		21	14	35
15 項		45	13	58
16 項	イ	35	7	42
	ロ	2	3	5
17 項		8	6	14
合 計		300	143	443

消防用設備設置件数

(過去5年間)

年 別		平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
消火設備	消 火 器	12	7	6	7	4
	屋 内 消 火 栓 設 備	1	4	2	2	2
	屋 外 消 火 栓 設 備					
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備					1
	粉 末 消 火 設 備 等	1	1	1		
	特 殊 消 防 用 設 備 等					
警報設備	自 動 火 災 報 知 設 備	13	10	12	5	10
	非 常 警 報 設 備	3	5		3	1
	漏 電 火 災 警 報 器					
	消 防 通 報 火 災 報 知 設 備	2	9	1		1
避難設備	避 難 器 具			1	1	3
	誘 導 灯	9	6	9	6	5
合 計		41	42	32	24	27

予防関係届出処理状況

(過去5年間)

区 分		年 別				
		平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
消 防 法 関 係	防火管理者選任（解任）届	18	29	29	23	18
	消防計画作成（変更）届	29	24	29	26	17
	工事整備対象設備着工届	13	20	12	16	9
	消防用設備等設置届	35	34	27	36	21
	消防用設備等点検結果報告書	131	109	139	159	157
	圧縮アセチレンガス等貯蔵又は取り扱いの開始届	3	3	2	1	1
火 災 予 防 条 例 関 係	防火対象物使用開始届	11	4	5	5	7
	炉、かまど、ボイラー等設置届	1	0	5	6	8
	変電、発電、蓄電池設備設置届	9	7	4	22	16
	水素ガスを充填する気球の設置届					
	火災とまぎらわしい煙等の届	33	33	33	37	
	煙火打ち上げ届				4	
	水道断水・減水届出書	3		4	1	
	道路工事・占有届	13		29	37	
	少量危険物、指定可燃物貯蔵届	11	5	5	9	4
	催物開催届	1		2	3	
業 保 守	液化石油ガス関係	7	15	22	8	7
	火薬類関係	6	7	32	22	7
	高圧ガス関係	4	6	4	6	3
合 計		328	296	383	421	275

広報実施状況

主 な 広 報 活 動	実施時期	令和3年
立て看板、ポスターの設置	春、秋	2
横断幕、防火のぼりの設置	〃	2
街頭広報（車両による巡回）	〃	2
町放送、有線放送による広報	〃	2

訓練指導状況

(過去5年間)

区 分		年 別				
		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
消 火 訓 練		24	34	20	18	6
避 難 ・ 通 報 訓 練		38	29	26	35	26
総 合 訓 練		50	49	62	48	39
防 火 映 画 等		10	10	1	6	8
起 震 車 ・ 煙 体 験		5	4	4	2	0
合 計		127	126	113	109	79

建築確認同意事務処理状況

(過去5年間)

年 別		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
種 別						
新 築		14	11	13	12	19
増 築		2	1	1	1	1
改 築		1				
そ の 他						
合 計		17	12	14	13	20

建築確認同意事務町別状況

(過去5年間)

年 別		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
種 別						
湯 浅 町		11	10	9	8	17
広 川 町		6	2	5	5	3
合 計		17	12	14	13	20

建築確認用途別申請内訳

(過去5年間)

年 別		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
用 途						
公会堂・集会場等		2			1	1
飲食店等						
物品販売店舗等		3	1	1		
旅館・ホテル等				2		
共同住宅等			1		2	
病院・診療所等						
老人福祉施設等					2	
学 校 等						
図書館・博物館・美術館等					1	1
神社・寺院・教会等						
工場・作業場等		2	3	5		1
車庫・駐車場等		1		2		
倉 庫 等		6	3	3	1	
事 務 所 等		2			1	6
複合用途防火対象物		1	2		3	3
専 用 住 宅					1	3
併 用 住 宅						
その他の工作物等			2	1	1	5
合 計		17	12	14	13	20

危険物施設数

(令和3年 12月31日現在)

施設区分		町別		
		湯浅町	広川町	計
貯蔵所	屋内貯蔵所	3	2	5
	屋外タンク貯蔵所	7	6	13
	屋内タンク貯蔵所			
	地下タンク貯蔵所	15	1	16
	移動タンク貯蔵所	8	5	13
	屋外貯蔵所	1		1
	簡易タンク貯蔵所		1	1
	小計	34	15	49
取扱所	給油取扱所	15	7	22
	一般取扱所	8	2	10
	小計	23	9	32
合計		57	24	81

危険物関係申請、届出受理状況

(過去5年間)

区分	年別				
	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
設置許可申請		2	1	3	4
変更許可申請			1	5	7
完成検査申請		2	3	8	10
仮使用承認申請			1	5	6
完成検査前検査申請					
譲渡引渡届	4	1			1
種類・数量変更届			1		1
保安監督者選解任届	6	15	2	3	7
住所・氏名変更届	2	4	1		6
軽微な変更届	6	13	7	5	3
休廃止届	1	1	7		1
合計	19	38	24	29	46

立入検査等実施状況

(過去5年間)

区 分		年 別					
		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
1 項	イ	映画館・観覧場等		2			
	ロ	公会堂・集会場等		12			
2 項	イ	キャバレー等					
	ロ	遊技場・ダンスホール等					
	ハ	性風俗店舗等					
3 項	イ	待合・料理店等					
	ロ	飲食店等		5	62		
4 項		百貨店・マーケット等	6	1	4		
5 項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	3	3	5	1	
	ロ	共同住宅・寄宿舎等		9			
6 項	イ	病院・診療所・助産所	3	1	2		
	ロ	老人福祉施設等（要介護者入居施設等）	11	3	6		
	ハ	老人福祉施設等（ロ以外の施設等）	3	11	1		
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	1	2			
7 項		小・中・高・大学校等	13	13			
8 項		図書館・博物館等		2			
9 項	イ	特殊浴場等					
	ロ	イ以外の公衆浴場					
10 項		車両以外の停車場等					
11 項		神社・寺院・教会等					
12 項	イ	工場・作業場等					
	ロ	テレビ・映画スタジオ					
13 項	イ	自動車車庫・駐車場等					
	ロ	飛行機等の格納庫					
14 項		倉庫等					
15 項		事業所等		6			
16 項	イ	特定複合用途防火対象物	4	12		1	
	ロ	イ以外の複合用途	13	13			
17 項		重要文化財等	13		9		
合 計			70	95	89	0	2

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
危険物施設	34	15	23	3	22

防火対象物定期点検報告及び特例認定状況

(過去5年間)

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
防火対象物定期点検	5	3	2	4	3
特例認定			2		1

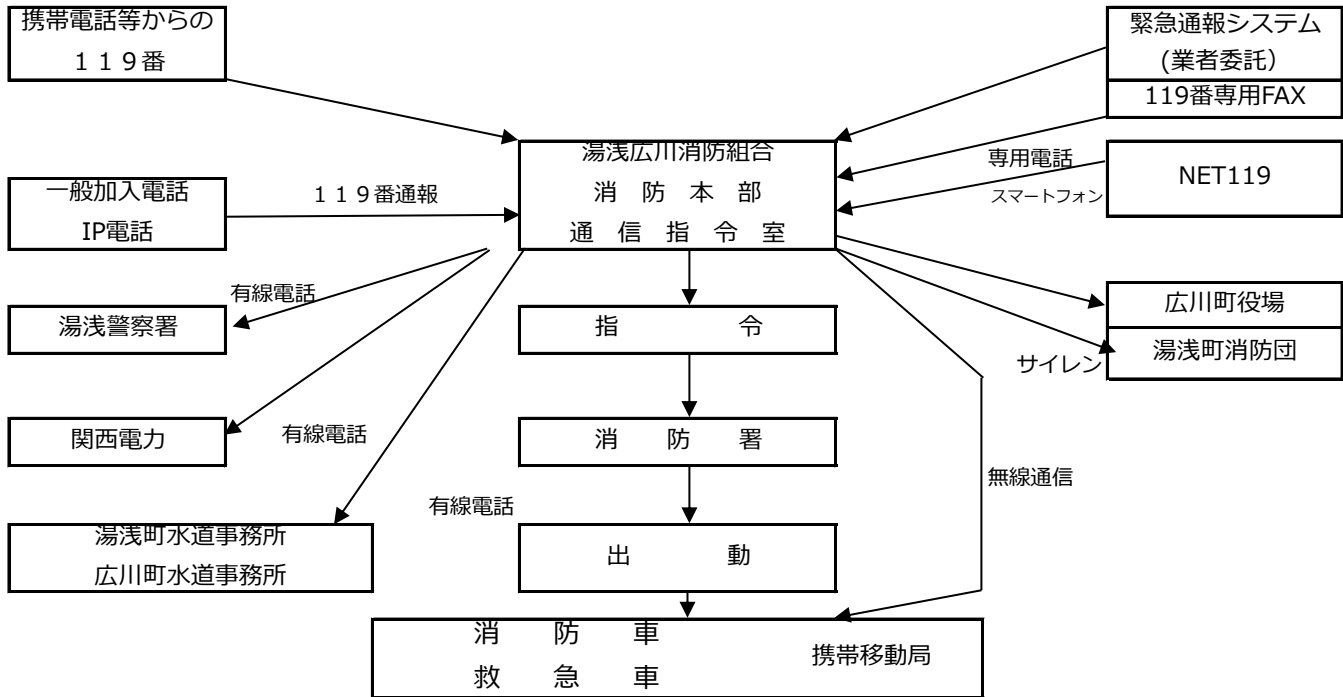
防火管理の状況

項 別		区 分	法 8 対 象 物	選 任 済 対 象 物	消 防 計 画 届 出
1 項	イ	映 画 館 ・ 観 覧 場 等	1	1	1
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場 等	28	13	13
2 項	イ	キ ャ バ レ ー ・ ナ イ ト ク ラ ブ 等			
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル 等	1	1	1
	ハ	性 風 俗 特 殊 営 業 を 営 む 店 舗 等			
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	1	1	1
3 項	イ	待 合 ・ 料 理 店 等			
	ロ	飲 食 店 等	9	4	2
4 項		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト 等	14	10	8
5 項	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所 等	8	7	6
	ロ	共 同 住 宅 ・ 寄 宿 舎 ・ 下 宿 等	14	14	9
6 項	イ	病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所 等	3	3	3
	ロ	老 人 福 祉 施 設 等 (要 介 護 者 入 居 施 設 等)	12	12	12
	ハ	老 人 福 祉 施 設 等 (ロ 以 外 の 施 設 等)	13	13	14
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校 等	2	2	2
7 項		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 校 等	13	13	13
8 項		図 書 館 ・ 博 物 館 等	4	4	4
9 項	イ	特 殊 浴 場 等			
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場	2	1	1
10 項		車 両 以 外 の 停 車 場 等			
11 項		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等	2	1	1
12 項	イ	工 場 ・ 作 業 場 等	3	3	3
	ロ	テ レ ビ ・ 映 画 ス タ ジ オ 等			
13 項	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場 等			
	ロ	飛 行 機 等 の 格 納 庫			
14 項		倉 庫 等			
15 項		前 各 号 に 該 当 し な い 事 業 所	15	15	10
16 項	イ	特 定 複 合 用 途 防 火 対 象 物	19	18	15
	ロ	イ 以 外 の 複 合 用 途 防 火 対 象 物	1	1	1
17 項		重 要 文 化 財 等	4	4	4
合 計			169	141	124

敬
言

防

消防通信系統図



無線電話保有状況

アナログ無線			
局別	區別	周波数	出力
携帯移動局	防災波	158.35	5W
			本部・署 3基

デジタル無線			
局別	區別	出力	本部・署
基地局		10W	2基
移動局 (車載)		10W	10基
移動局 (携帯)		5W	12基
可搬式移動局		10W	1基

署活波			
携帯移動局	周波数 (MHz)	出力	本部・署
	466.3625	1W	12基

有線電話等保有状況

種別	本部・署 (回線)
火災、救急専用電話 (119番)	2
救急医療情報システム	1
119番専用ファクシミリ	1
一般加入電話	3
各課直通加入電話	5
広川町役場専用電話	1
西日本高速道路 (株) 業務用電話	1
携帯電話 (本部用、救急用)	4
タブレット端末	2
衛星電話	1
和歌山県総合防災情報システム	1

消防相互応援協定

(令和3年 12月31日現在)

協定名	締結年月日	協定機関	応援内容
1 日高広域消防事務組合、湯浅広川消防組合 消防相互応援協定	昭和63年 1月14日	日高広域(事)消防本部	消火・救急・救助業務資器材の援助
2 和歌山県防災ヘリコプター応援協定	平成8年 2月22日	県下の市町村及び消防の一部の事務組合	消防組織法第一条に規定する水火災又は地震等の災害。
3 和歌山県下消防広域相互応援協定	平成8年 3月 1日	県下の市町村及び消防の一部事務組合	大規模な自然災害、大規模火災及び特殊火災、大規模又は特殊な事故、その他応援を必要とする災害。
4 有田市・湯浅広川消防組合・有田川町消防 相互応援協定	平成18年 4月 1日	有田川町消防本部 有田市消防本部	消火・救急・救助業務
5 阪和自動車道、湯浅御坊道路、関西空港自動車道及び京奈和自動車道消防相互応援協定	平成29年 3月18日	[和歌山県] 和歌山市・岩出市・海南市・有田川町・湯浅町・広川町・日高川町・御坊市・印南町・みなべ町・田辺市 [大阪府] 堺市・和泉市・岸和田市・貝塚市・熊取町・泉佐野市・泉南市・阪南市	消火・救急・救助業務

消防水利の現況

(令和3年 12月31日現在)

	湯浅町	広川町	合計
公設消火栓	335	238	573
防火水槽	50	39	89
その他	8	5	13
	湯浅、田、山田、田栖川吉川分校、各小学校 湯浅中学校 耐久高等学校 宝栄水泳プール	広、南広、津木、各小学校 たちばな支援学校 B & Gプール	

主力機関の紹介



タンク車

車名 日野
 年式 平成29年式
 車両番号 和歌山800す996
 ポンプ級 A-2



ポンプ車

車名 トヨタ
 年式 平成19年式
 車両番号 和歌山800さ6341
 ポンプ級 A-2



救助工作車

車名 日野
 年式 令和元年式
 車両番号 和歌山800す2066



高規格救急車①

車名 トヨタ
 年式 平成22年式
 車両番号 和歌山830て99



高規格救急車③

車両 トヨタ
 年式 平成29年式
 車両番号 和歌山830す993



水難救助車

車名 トヨタ
 年式 平成22年式
 車両番号 和歌山800さ8144



人員搬送車

車名 ニッサン
 年式 平成19年式
 車両番号 和歌山800さ6318



小型動力ポンプ軽積載車

車名 ダイハツ
 年式 令和3年
 車両番号 和歌山880あ2416



軽多目的車

車名 スズキ
 年式 令和元年式
 車両番号 和歌山880あ2118



広報車

車名 ニッサン
 年式 平成19年式
 車両番号 和歌山800さ6464



防災指導車

車名 ニッサン
 年式 平成30年式
 車両番号 和歌山501て2332



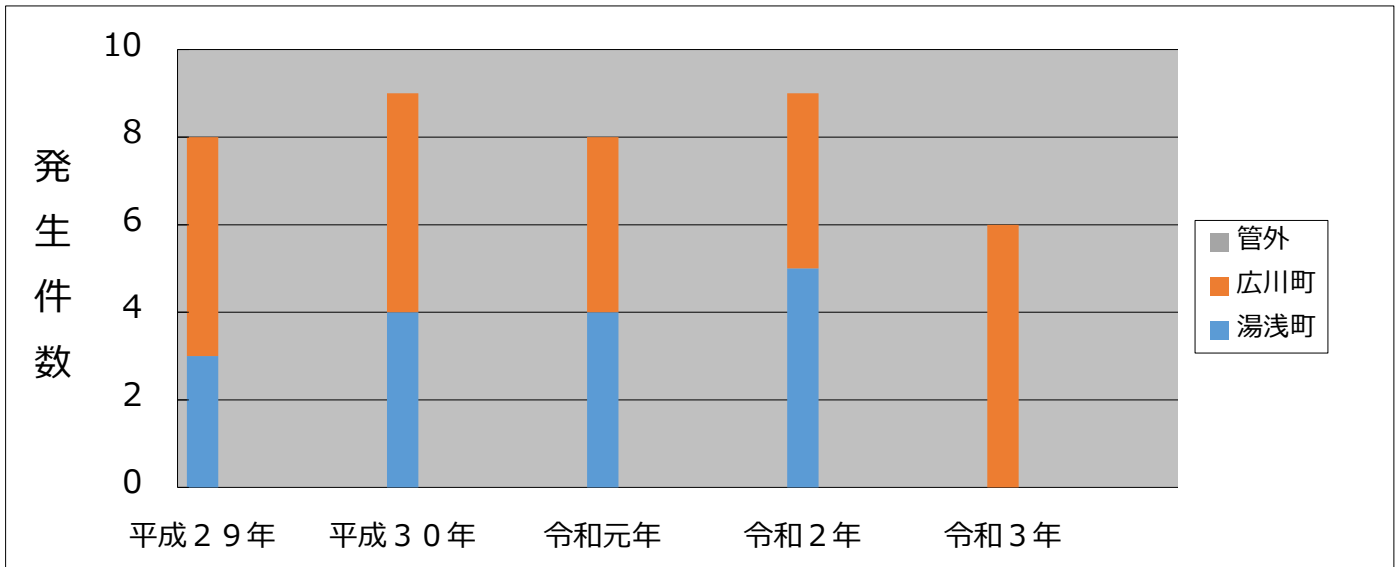
消火・通報訓練指導車

車名 マツダ
 年式 平成19年式
 車両番号 和歌山100さ7331

火

災

火災発生の推移



		年別				
		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
町別	湯浅町	3	4	4	5	0
	広川町	5	5	4	4	6
管外		0	0	0	0	0
合計		8	9	8	9	6

町別火災種別状況

町名	火災種別		建物	林野	車両	船舶	その他	合計
	年別							
湯浅町	平成29年	1	1				1	3
	平成30年	1					3	4
	令和元年	4						4
	令和2年	4					1	5
	令和3年							0
広川町	平成29年	1	1				3	5
	平成30年	4					1	5
	令和元年	2	1				1	4
	令和2年	1		1			2	4
	令和3年	2					4	6

火災の概況

区分		年別		増減	
		令和2年	令和3年		
火災件数	建物火災	5	2	△3	
	林野火災	0	0	0	
	車両火災	1	0	△1	
	船舶火災	0	0	0	
	その他火災	3	4	1	
	合計	9	6	△3	
損害額（千円）		576	11,401	10,825	
焼損棟数	全焼	0	1	1	
	半焼	0	0	0	
	部分焼	1	1	0	
	ぼや	4	0	△4	
	合計	5	2	△3	
焼損面積	建物	床面積（㎡）	16	1188	1,172
		表面積（㎡）	2.6	0	△2.6
	林野（a）	18.03	0	△18.03	
死傷者	死者	0	0	0	
	負傷者	0	0	0	
り災世帯数		1	1	0	
り災人員		1	1	0	

火災覚知別表

覚知別	年別				
	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
火災専用電話119	2	2	2	2	2
一般加入電話		1			
警察通報	1				1
事後覚知				1	
火災専用電話（携帯）	5	6	5	6	3
一般加入電話（携帯）			1		
その他					
合計	8	9	8	9	6

曜日別火災状況

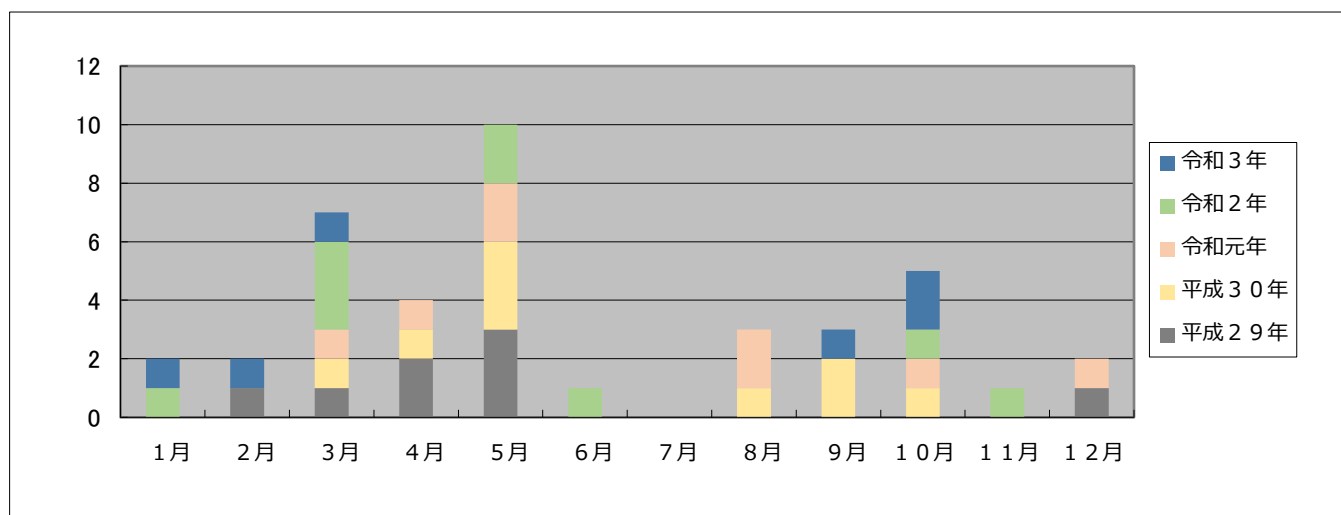
曜日	年別	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
日		2	1	3		1
月		3	1	3	1	1
火			2		1	2
水		1		1	3	0
木		1	2		1	1
金		1	2		1	1
土			1	1	2	0
不明						
合計		8	9	8	9	6

出火時刻別火災状況

時間	年別	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
0 ~ 1			1			
1 ~ 2					1	
2 ~ 3		1				
3 ~ 4						
4 ~ 5		1				
5 ~ 6						
6 ~ 7				1		
7 ~ 8		1				
8 ~ 9			2			1
9 ~ 10		1	1		1	
10 ~ 11				1	1	1
11 ~ 12		1				1
12 ~ 13					1	
13 ~ 14		1		1		
14 ~ 15		1	1	1		
15 ~ 16			1			
16 ~ 17		1	1			2
17 ~ 18			1	2	1	
18 ~ 19					1	
19 ~ 20					1	
20 ~ 21			1		1	
21 ~ 22						1
22 ~ 23				1		
23 ~ 0				1		
不明					1	
合計		8	9	8	9	6

月別火災状況

月別 \ 年別	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
1月				1	1
2月	1				1
3月	1	1	1	3	1
4月	2	1	1		
5月	3	3	2	2	
6月				1	
7月					
8月		1	2		
9月		2			1
10月		1	1	1	2
11月				1	
12月	1		1		
合計	8	9	8	9	6

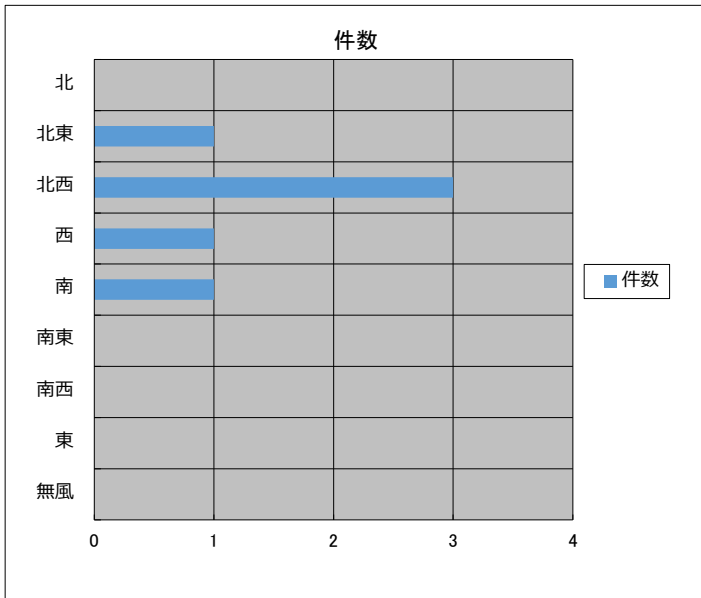


出火原因別火災状況

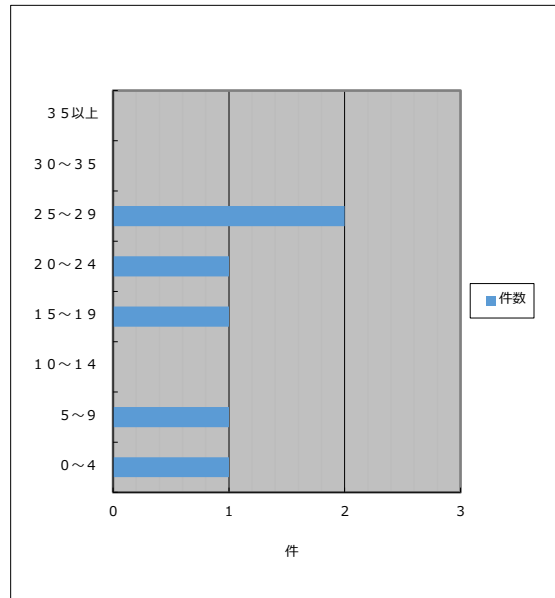
原因 \ 年別	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
たばこ	1	1			
ガスコンロ			1	1	
ガスバーナー					
配線器具		1	1	1	
火遊び	1	1		1	
マッチ・ライター					
たき火	4	3	1	1	
溶接機・切断機	1	1			
放火			1	1	
放火の疑い					
飛び火				2	2
再燃					
その他		2		1	4
不明	1		4	1	
管外(不明)					
合計	8	9	8	9	6

気象別火災状況 (令和3年中)

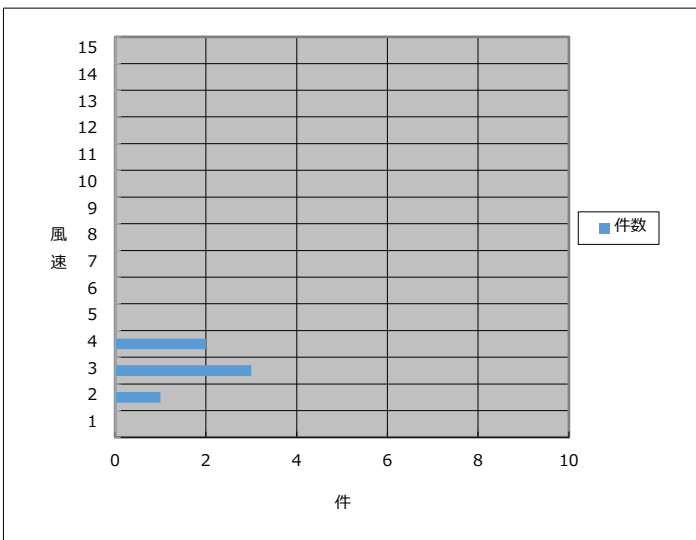
風向別件数



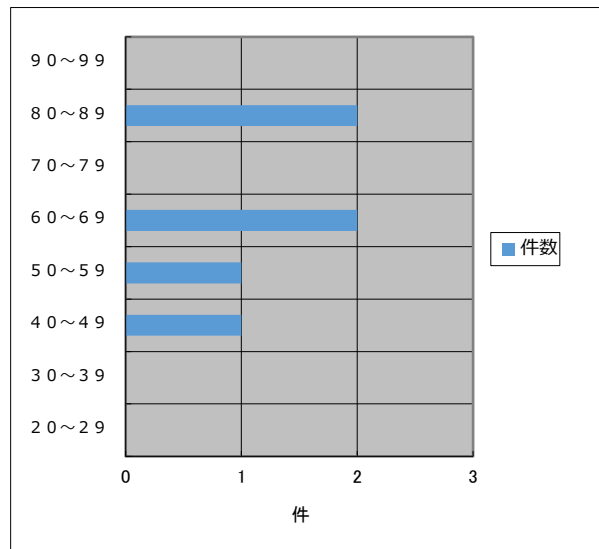
気温別件数



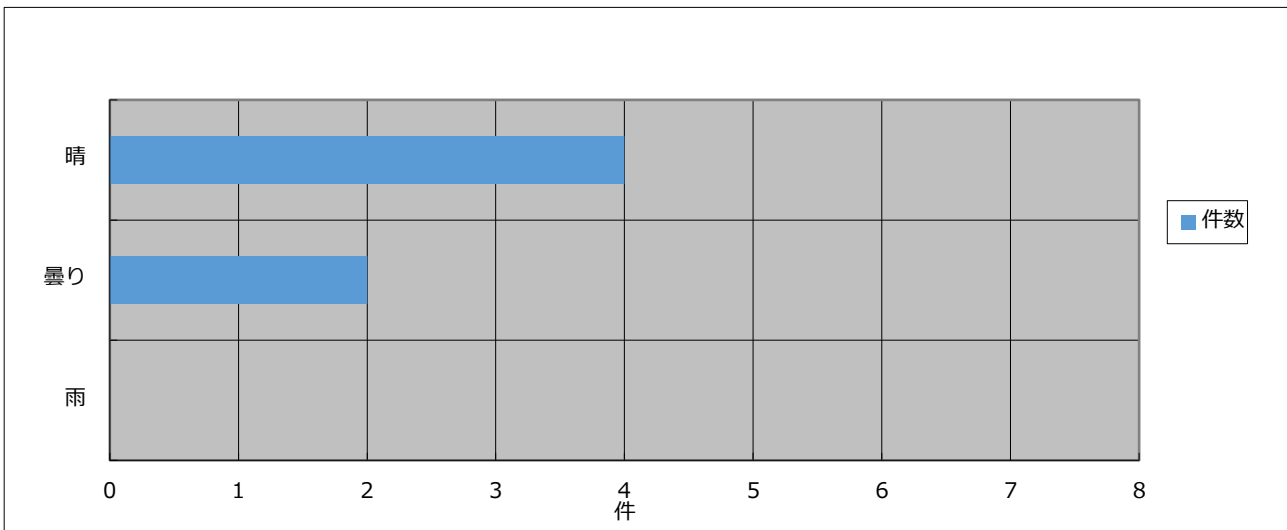
風速別件数



湿度別件数



天気別件数



その他の出動状況

危険排除出動件数

年別	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
件数	9	9	11	4	5

警戒出動件数

年別	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
件数	19	17	18	15	10

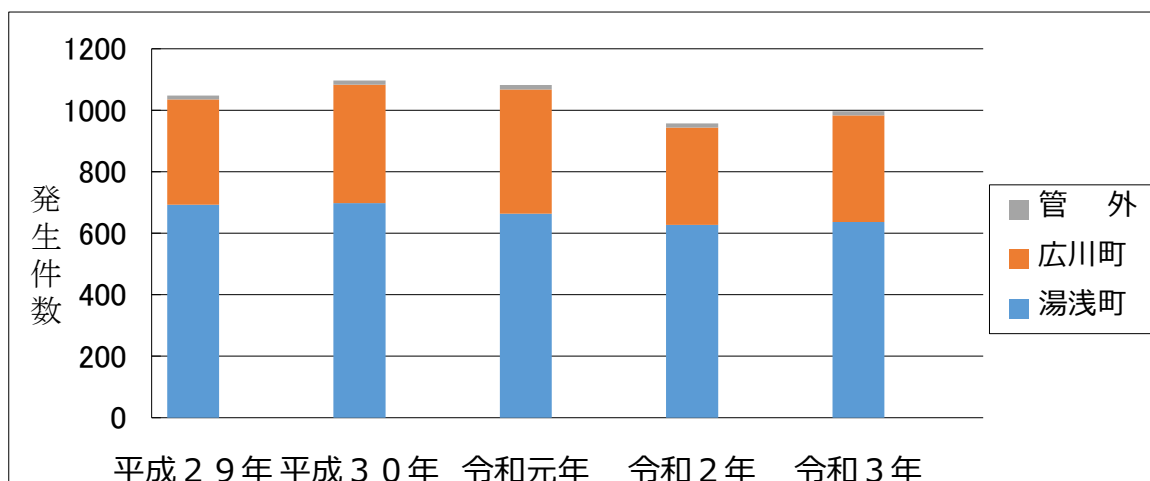
蜂の営巣駆除出動件数

年別	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
件数	16	4	6	0	0

救

急

救急出動の推移



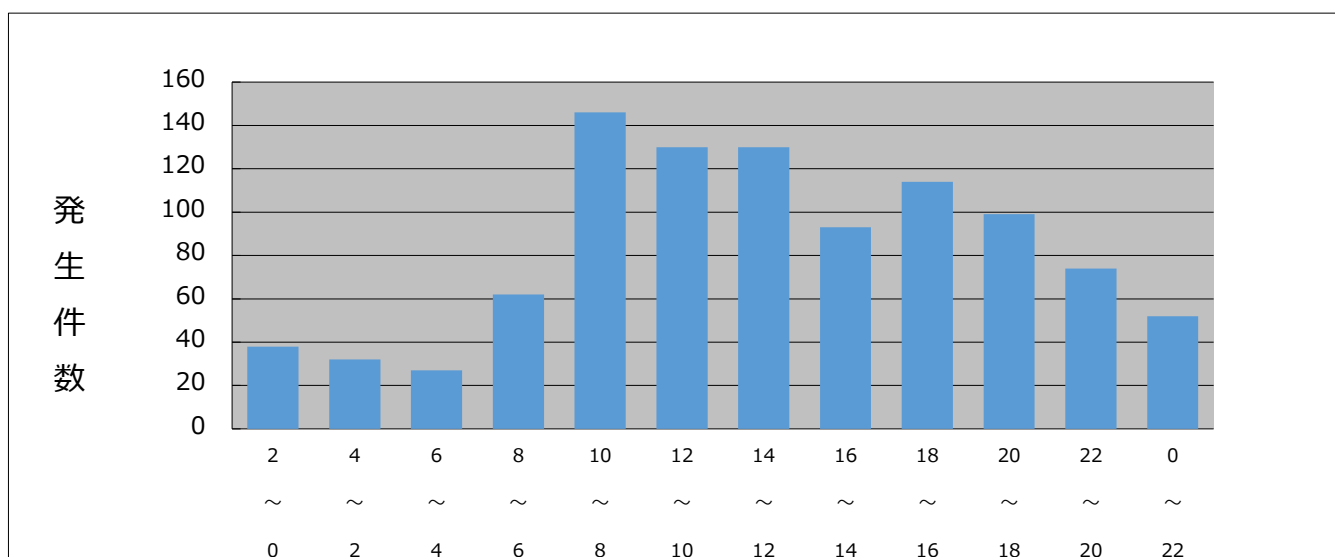
年別		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
町別	湯浅町	693	698	664	627	637
	広川町	342	385	404	317	346
管外		13	14	14	13	14
出動件数		1,048	1,097	1,082	957	997
(内ドクターヘリ要請)		22	25	24	28	18

事故別発生状況

年	区分	計	救急事故種別											内不搬送
			火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
平成29年	出動件数	1,048	1	0	3	89	7	6	145	7	3	678	109	65
	搬送人員	990	1	0	3	86	7	6	130	6	0	647	104	
平成30年	出動件数	1,097	0	3	4	61	11	9	159	3	7	727	113	74
	搬送人員	1,030	0	1	2	59	11	9	152	3	3	684	106	
令和元年	出動件数	1,082	3	1	7	88	8	5	144	0	6	729	91	73
	搬送人員	1,025	2	1	3	95	8	6	137	0	4	681	88	
令和2年	出動件数	957	0	1	2	67	9	7	156	1	4	640	70	65
	搬送人員	897	0	1	1	66	9	7	148	1	3	594	67	
令和3年	出動件数	997	0	0	8	58	14	1	131	1	6	683	95	72
	搬送人員	928	0	0	3	56	14	1	121	1	4	639	89	

時間別出動状況

(令和3年中)



時間別	0 ~ 2	2 ~ 4	4 ~ 6	6 ~ 8	8 ~ 10	10 ~ 12	12 ~ 14	14 ~ 16	16 ~ 18	18 ~ 20	20 ~ 22	22 ~ 0
出動件数	38	32	27	62	146	130	130	93	114	99	74	52

高度救命処置件数

		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
高度救命処置件数		27	33	29	22	28
内訳	器具による気道確保	18	24	21	19	22
	自動体外式除細動器による除細動	4	4	3	2	3
	乳酸リンゲル液による静脈路確保	13	20	13	10	13
	アドレナリンによる薬剤投与	8	6	5	5	7
	心肺停止前の輸液	4	2	2	2	3
	ブドウ糖溶液投与	3	0	4	1	2

程度別搬送状況

年別 程度	平成29年 (人)	平成30年 (人)	令和元年 (人)	令和2年 (人)	令和3年 (人)
死亡	30	32	31	25	29
重症	164	155	111	130	114
中等症	376	413	414	362	400
軽症	419	427	469	380	385
その他	1	3	0	0	0
合計	990	1,030	1,025	897	928

病院照会件数

年別	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
件数	251	152	181	152	82

救急資器材一覧表

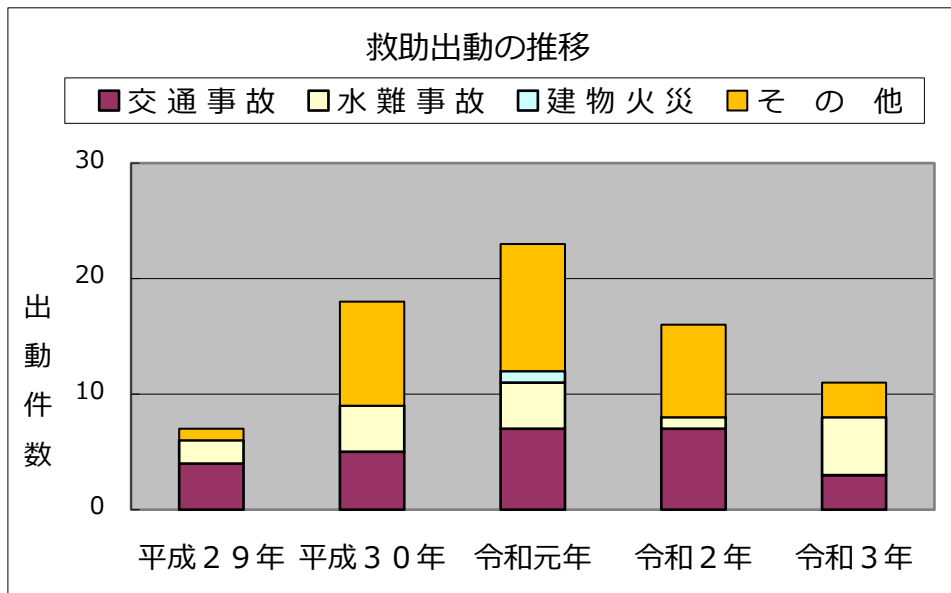
(令和3年 12月31日現在)

観 察 材 用 資	患者監視装置	用 保 温 器 搬 送 材	メインストレッチャー
	体温計各種		スクープストレッチャー
	血圧計		布担架
	聴診器		救助シート
	検眼ライト		雨おおい
	携帯用血中酸素飽和度測定器		毛布
呼 吸 ・ 循 環 管 理 用 資 器 材	ETCO2測定器	感 染 防 止 用 資 器 材	オゾンUVエアクリア
	自動式人工呼吸器		シール機
	自動式心マッサージ器		消毒薬各種
	流量計付酸素吸入装置		感染防護衣
	酸素吸入用マスク各種		感染防御用手袋各種
	酸素ポンベ		ゴーグル
	吸引器		マスク各種
	吸引用カテーテル各種		シューズカバー
	経鼻エアウェイ		ストレッチャーカバー
	食道閉鎖式エアウェイ		ポップアップアイソレーター
	気管挿管チューブ		高度シミュレーター人形
	開口器各種		訓練用人形 (成人)
	異物除去等鉗子	訓練用人形 (小児)	
	喉頭鏡	訓練用人形 (ベビー)	
	自動体外式除細動器 (二相式)	静脈路確保訓練用人形	
	輸液セット	気管挿管モデル	
	脈血帯	気道管理モデル	
	留置針	外傷模型キット	
	血糖測定器	AEDトレーナー	
	乳酸リンゲル液	そ の 他 の 資 器 材	車載用無線機
ブドウ糖溶液	携帯用無線機		
人工鼻フィルター	I P無線機		
バックボード	携帯電話		
バックボード用固定ベルト	分娩用資器材一式		
ヘッドイモビライザー	膿盆・受水盆・汚物入れ		
陰圧式固定マット各種	リングカッター		
梯状副子	万能ハンマー		
ネックカラー	ボール		
砂嚢	懐中電灯		
ガムスリング	救命浮環一式		
止血帯 (ターニケット)	トリアージタッグ		
三角巾	タブレット端末		
救急包帯各種			
救急タオル各種			
滅菌ガーゼ			
滅菌アルミホイル			
熱傷パッド各種			

救

助

救助出動の推移



種別 \ 年別	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
交通事故	4	5	7	7	3
水難事故	2	4	4	1	5
建物火災	0	0	1	0	0
その他	1	9	11	8	3
合計	7	18	23	16	11

月別救助出動状況

月別 \ 年別	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
1月	0	0	0	1	1
2月	0	1	1	1	1
3月	0	2	2	3	4
4月	0	1	2	2	0
5月	1	0	5	2	2
6月	0	0	3	0	0
7月	1	2	1	3	0
8月	1	4	2	1	1
9月	0	2	2	0	1
10月	2	2	1	3	0
11月	1	3	0	0	1
12月	1	1	4	0	0
合計	7	18	23	16	11

救助資器材一覧表

省令別表第一に掲げる救助器具

(令和3年 12月31日現在)

器 材 名	
一般救助器具	かぎ付きはしご 三連ばしご ワイヤはしご 滑車 救命索発射銃 サバイバースリング 平担架 ロープ カラビナ
器排重量 具除物	マンホール救助器具 可搬ウィンチ ワイヤーロープ
器切 具断	鉄線カッター 油圧切断機 エンジンカッター チェーンソー
器隊 員保 護 具用	防毒マスク 携帯警報器 革手袋 耐電手袋 安全帯 防塵めがね
用保呼 具護吸	空気呼吸器

器 材 名	
水難救助用器具	潜水器具一式 潜水救助器具一式 救命胴衣 水中投光器 救命浮環 浮環 救命ボート 船外機 水中無線機 水中時計
器破 用壊 具	万能斧 ハンマー 携帯用コンクリート破壊器具
器測検 用定知 具	可燃性ガス測定器
救そ 助の 用他 器の 具の	投光器一式 携帯拡声器 携帯無線機 車両移動器具 応急処置用セット バスケット担架 その他の携帯救助工具

省令別表第二に掲げる救助器具

器 材 名	
器排重量 具除物	マット型空気ジャッキ一式 大型油圧スプレッダー 救助用支柱器具
器切 具断 具用	空気のごぎり 大型油圧切断機 空気切断機
器破 壊 具用	削岩機

器 材 名	
器保呼 護 具用吸	防塵マスク 送排風機
器保隊 護 具用員	耐電長靴
用のそ 器救の 具助他	発電機

省令別表第三に掲げる救助器具

器 材 名	
用救高 具器助度	熱画像直視装置

消防年報令和3年版

令和4年3月発行

編集・発行

和歌山県有田郡湯浅町大字青木 670番地

湯浅広川消防組合消防本部

T E L (0 7 3 7) 6 4 - 0 1 1 9

F A X (0 7 3 7) 6 3 - 6 6 2 6

<http://yuasahirogawa.sakura.ne.jp/>

E - m a i l : fd119@juno.ocn.ne.jp